

市交際費の支出状況

平成31年3月分

支出種別	区分	件数	金額(円)
弔慰	今月分	1	5,000
	累計	53	215,850
見舞い	今月分	1	12,160
	累計	1	12,160
御祝	今月分	0	0
	累計	39	252,000
賛助	今月分	0	0
	累計	4	20,952
激励金	今月分	0	0
	累計	0	0
接遇	今月分	2	2,240
	累計	21	117,379
会費	今月分	3	8,000
	累計	48	182,900
その他	今月分	1	3,600
	累計	3	10,800
合計	今月分	8	31,000
	累計	169	812,041

◎くわしくは市のホームページに掲載しています

問い合わせ 総務課 秘書係  
☎75-2115

市長コラム

「人権感覚を養う」

空になったベットボトルを、4歳の孫娘に捨ててほしいと頼んだ。彼女は、ラベルを剥がし、キャップと容器を分別して捨ててくれた。どこで覚えたのか、彼女の中では、ごく普通の行動のようでした。繰り返し、言葉で教えなくても、いつの間にかこうした行動が出来るようになっていたことに成長を感じます。

些細な出来事ですが、私は人権感覚もこのようにして自然と身につけていけばいいなと思っています。知識として、頭で人権を理解するのではなく、心から人権感覚を身につけて欲しいのです。そのためには、自分と他の人の大切さ

tomoni ikiru

が認められるような環境を作っていくことが大事なのですが、その出発点は、家庭の中にあるのではないのでしょうか。たとえば、「おはよう」「行ってきます」「ただいま」「ありがとう」「ごめんさい」「おやすみなさい」の言葉にしても、大きな声で、大人から言っているのでしょうか。人を思いやるこれらの言葉には、相手へ気遣い、相手の気持ちを考え、そして何より、「あなたのことが大切」という心が込められています。

「人権とは何か」と難しく教えずとも、大人の姿勢を見せて、学ばせることが大事なこと。家庭で学んだことは、社会に出てから発揮されます。だからこそ、私たち大人の人権感覚を養うことが必要なのです。6月から人権・同和教育講座「心のセミナー」が始まります。みなさんも一緒に学びませんか？

社会教育指導員 野中 久美子

Message for citizen



市長コラム



五月一日、新元号「令和」の時代がいよいよ始まりました。三十年四か月に亘る「平成」

の時代は、昭和天皇の崩御と新天皇の即位で始まり、普賢岳噴火、阪神淡路大震災、東日本大震災などの災害を乗り越えてきました。天皇皇后両陛下は被災地を幾重にも見舞われ、避難所の体育館では避難者と同じく床に膝をついて励まされました。

まさに人々に寄り添う全国行脚でした。身体的ご負担もきつとあつたはず。しかし、そのことはひとことも言及されず、ひたすら継続されました。

憲法には「天皇は象徴」とありますが、役割細目は必ずしも詳しく定められてはいません。お二人が「あるべき姿」を常に探究熟慮され、ともに実践されたことと思います。

今では、政教分離原則のために、天皇家の私的行事とされるものが幾つもあると聞きます。

令和元年のはじまり

市長 横尾 俊彦

例えば、天皇陛下は元旦早朝に宮中・神嘉殿の南庭で四方拝の祭祀が行われます。国家の繁栄と国民の安寧を祈る儀式です。氷点下の真冬の黎明前に、素足で式典に臨まれ、長時間の正座はもとより、古より続く作法で行われると聞きます。体調辛苦により控えようなどの気持ち、が寸分も入る余地なく、歴史を担う使命と責任感によると拝察します。気高い精神性と無私の貢献に感激するばかりです。その高貴さが人々に感動をもたらす源であろうとも感じます。

新たに始まった令和の世に、多久市も未来志向でさらに新創造に努め、日々地道な努力を重ねていきます。市民の皆様と連携し、よりよい多久市の未来をつくっていききたいと思っています。

令和元年の始まりです。すばらしい年となるよう一緒に努めて参りましょう。